

建築物環境衛生管理状況報告書（令和6年度分）

（記入日）

記入者（氏名）

（所属）

（電話）

特定建築物の 名称			特定建築物の 所在地		
【特定建築物の情報】			※記入にあたっては、参考資料を参照の上ご記入ください。		
1. 届出情報					
所有者等 （全部の管理の権原 を有する者）	（法人名、代表者肩書、代表者氏名）				
維持管理権原者	（法人名、代表者肩書、代表者氏名）				
建築物環境衛生 管理技術者 （ビル管技術者）	氏名（フリガナ）		免状番号	所属	
	兼任の有無		所有者等から見た委託区分		
	☐ 有（兼任施設数： 件） ☐ 無		☐ 自社 ☐ 委託		
主たる特定用途	☐ 事務所 ☐ 店舗 ☐ 学校 ☐ 旅館 ☐ 集会場 ☐ その他（ ）				
2. 空調設備等					
主たる空調設備 （機能の有無）	☐ 空気の浄化 ☐ 流量の調節 ☐ 温度の調節 ☐ 湿度の調節	※4つ全て該当 → 「空調設備」 ※空気の浄化，流量の調節のみ該当 → 「機械換気設備」			
主たる空気環境 調整方法	☐ 空調設備 ☐ 機械換気設備 ☐ その他（ ）				
方式	☐ 中央管理方式 ☐ 個別管理方式 ☐ 併用				
冷却塔	☐ 有	稼働時期		レジオネラ属菌自主検査	
	☐ 無	☐ 通年 ☐ 期間（ 月～ 月）		☐ 有（結果： CFU/100mL） ☐ 無	
加湿装置	☐ 有	稼働時期		形式	
	☐ 無	☐ 通年 ☐ 期間（ 月～ 月）		☐ 蒸気 ☐ 気化 ☐ 水噴霧 ☐ 超音波	
3. 給水，給湯設備等					
水源種別	☐ 水道水のみ ☐ 井戸水等 ☐ 併用				
給水方式	☐ 水道直結 ☐ ポンプ直送 ☐ 高置タンク ☐ 蓄圧・圧力タンク ☐ その他（ ）				
貯水槽	☐ 有 ☐ 無	設置数		総有効容量	法定検査受検（水道法）
		☐ 受水槽 基		m ³	☐ 有（判定： ）
		☐ 高置水槽・中間水槽 基		m ³	☐ 無
給湯設備	☐ 有	方式		貯湯タンク（中央式給湯）	
	☐ 無	☐ 中央式 ☐ 個別（局所）式		☐ 有（総容量： m ³ ） ☐ 無	
雑用水	☐ 有 ☐ 無	水源		用途	
		☐ 水道水 ☐ 雨水		☐ 水洗便所 ☐ 修景（噴水・ビオトープ等）	
		☐ その他（ ）		☐ 散水 ☐ 清掃 ☐ その他（ ）	

【維持管理状況について】		※該当するものを選択してください		
1. 空気環境の測定				
項目	基準値等	施設管理状況		
空気環境の測定を実施している（以下の項目）		1回/2ヶ月	☐ 適	☐ 未実施あり ☐ 非該当
測定結果	浮遊粉じんの量	0.15mg/m ³ 以下	☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
	一酸化炭素の含有率	6ppm以下	☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
	二酸化炭素の含有率	1,000ppm以下	☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
	温度 ※空気調和設備のある施設が対象	18℃～28℃	☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
	相対湿度 ※空気調和設備のある施設が対象	40%～70%	☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
	気流	0.5m/秒以下	☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
ホルムアルデヒドの量を測定している ※新築、増築、大規模改修施設のみ対象		1回/使用開始後の 6月～9月	☐ 適	☐ 未実施あり ☐ 非該当
測定結果	ホルムアルデヒドの量	0.1mg/m ³ (0.08ppm) 以下	☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
【備考欄】 不適あり・未実施ありの内容とその改善状況等				
2. 空気調和設備の管理		※機械換気設備のみの施設は非該当		
項目	基準値等	施設管理状況		
冷却塔への供給水	水質基準に適合	☐ 適	☐ 不適あり	☐ 非該当
加湿装置への供給水	水質基準に適合	☐ 適	☐ 不適あり	☐ 非該当
冷却塔、冷却水の汚れの点検を実施している （必要に応じて清掃及び換水等を行う）	使用開始時：1回 使用期間中：1回/月	☐ 適	☐ 未実施あり	☐ 非該当
冷却塔、冷却水管の清掃を実施している	1回/1年以内	☐ 適	☐ 未実施あり	☐ 非該当
加湿装置の汚れの点検を実施している （必要に応じて清掃等を行う）	使用開始時：1回 使用期間中：1回/月	☐ 適	☐ 未実施あり	☐ 非該当
加湿装置の清掃を実施している	1回/1年以内	☐ 適	☐ 未実施あり	☐ 非該当
排水受けの汚れ、閉塞状況の点検を実施している （必要に応じて清掃等を行う）	使用開始時：1回 使用期間中：1回/月	☐ 適	☐ 未実施あり	☐ 非該当
【備考欄】 不適あり・未実施ありの内容とその改善状況等				

3. 飲料水・給湯水の管理		※水道直結の施設は非該当		
項目		基準値等	施設管理状況	
飲料水の遊離残留塩素の検査を実施している		1回/7日	☐ 適	☐ 未実施あり ☐ 非該当
検査結果	遊離残留塩素の含有率：0.1mg/L以上 (汚染のおそれがある場合0.2mg/L以上)		☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
飲料水の水質検査を実施している (水道水：6ヶ月毎16(11)項目、 6～9月に消毒副生成物12項目) (井戸水等：更に3年毎有機化学物質7項目)			☐ 適	☐ 未実施あり ☐ 非該当
検査結果	飲料水の水質検査結果は水質基準に適合している		☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
貯水槽の清掃をしている(高置水槽等を含む)		1回/1年	☐ 適	☐ 未実施あり ☐ 非該当
中央式給湯設備の遊離残留塩素の含有率の 検査を実施している (給湯温度の確認による代替も可)		1回/7日	☐ 適	☐ 未実施あり ☐ 非該当
検査結果	給湯水の遊離残留塩素の含有率：0.1mg/L以上 (末端55℃以上の確認による代替も可)		☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
中央式給湯設備の水質検査を実施している (水道水：6ヶ月毎16(11)項目、 6～9月に消毒副生成物12項目) (井戸水等：更に3年毎有機化学物質7項目)			☐ 適	☐ 未実施あり ☐ 非該当
検査結果	給湯水の水質検査結果は水質基準に適合している		☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
貯湯槽の清掃をしている		1回/1年	☐ 適	☐ 未実施あり ☐ 非該当
【備考欄】 不適あり・未実施ありの内容とその改善状況等				
4. 雑用水の管理		※水源が水道事業の用に供する水道又は専用水道の場合は非該当		
項目		基準値等	施設管理状況	
雑用水の遊離残留塩素の検査を実施している		1回/7日	☐ 適	☐ 未実施あり ☐ 非該当
検査結果	遊離残留塩素の含有率：0.1mg/L以上 (汚染のおそれがある場合0.2mg/L以上)		☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
雑用水の水槽の点検をしている		随時	☐ 適	☐ 未実施あり ☐ 非該当
雑用水の水質検査を実施している(以下の項目)			☐ 適	☐ 未実施あり ☐ 非該当
検査結果	pH値：5.8以上8.6以下	1回/7日	☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
	臭気：異常でないこと	1回/7日	☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
	外観：ほとんど無色透明であること	1回/7日	☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
	大腸菌：検出されないこと	1回/2ヶ月	☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
	濁度：2度以下 (水洗便所に使用する水は非該当)	1回/2ヶ月	☐ 適	☐ 不適あり ☐ 非該当
【備考欄】 不適あり・未実施ありの内容とその改善状況等				

5. その他			
項目	基準値等	施設管理状況	
排水に関する設備の清掃をしている (※排水槽がない施設もルーフドレイン、 枦等の清掃が必要)	1回/6ヶ月	☐ 適	☐ 未実施あり
大掃除をしている (※大掃除とは天井や窓の清掃、床のワックス 再塗布、カーペット洗浄等のことをいう)	1回/6ヶ月	☐ 適	☐ 未実施あり
ねずみ、昆虫等の発生、生息、侵入状況の 調査をしている	1回/6ヶ月	☐ 適	☐ 未実施あり
帳簿書類の備付けをしている 維持管理に関し環境衛生上必要な事項を記載した 帳簿書類、年間計画 : 5年保管 技術者兼任の確認書 : 当該技術者兼任の期間 維持管理に係る図面等 : 永年保管		☐ 適	☐ 未実施 (不足) あり
【備考欄】 不適あり・未実施ありの内容とその改善状況等			
6. 施設状況の把握について			
すべてのテナントの管理状況を把握できていますか？ (各階・フロア等での空気環境測定実施、設備点検・清掃の実施など)		☐ はい ☐ いいえ	
「いいえ」の場合、聞き取り、定期的な報告（アンケート等）の受理、チラシ等の定期周知など 改善対策をして、施設全体の管理状況の把握に努めてください			
すべての区画の換気状況を把握できていますか？ (換気装置の正常稼働（故障、汚れ等の確認）、CO ₂ 1,000ppm以下、 換気を邪魔するパーテーション（間仕切り）施工の有無など)		☐ はい ☐ いいえ	
「いいえ」の場合、改善対策をしてください			
建築物環境衛生管理技術者、又は管理実務担当者による監督状況を教えてください。		☐ 常駐 ☐ 定期巡回	
建築物衛生法に基づき施設の維持管理が環境衛生上適正に行われるように監督の徹底をお願いします			

【備考欄】 不適あり・未実施ありの内容とその改善状況等（各項目の備考欄に記入しきれない場合）